

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語				学期	曜日	校時
英語名	German				前期 後期	木曜日 木曜日	3校時 3校時
担当 教員名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択			
授業のねらい・内容・方法							
<p>初級文法の基礎の上に、主として物語のドイツ語文章を読む力を身につける。テキストはプロイスラーの「小さな魔女」を使う。本文は全体で約40ページなので、前期と後期を通じて一回の授業で1ページ半ずつ進むと、最後まで読み通すことができる。もともとは青少年向けの作品といえるけれども、内容は奇想あり、風刺ありと多彩である。</p> <p>上のテキストを読むのと平行して、文法をさらによく理解するために独作文を中心にした練習問題をする（プリントを使用）。いくつかの重要でわかりにくい文法事項に焦点をしばって、折に触れて再確認し、練習する。</p> <p>テキストは平易なドイツ語で書かれているので、自分で辞書を引きながらどんどん読んでゆくことができる。教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。</p> <p>テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。</p>							
テキスト、教材等							
テキスト：『小さな魔女』 加藤 宏 編、 郁文堂							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
2E5～7	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10%）を考慮して評価する。						
授業計画							
<p>大体1回に1ページ半ぐらいずつ進む。前もって4～5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。</p> <p>文法に関しては、練習問題のコピー（プリント）を使う。数回に分けて配布する。それらの内から、できるだけ毎回少しずつ取り上げる。</p> <p>前期 第一回1～第十四回 1～26ページ 特にzu不定詞句、格変化、代名詞、関係代名詞などを取り上げる。</p> <p>後期 第一回～第十四回 27～49ページ 特に重要動詞の3基本形、現在完了、接続法、冠飾句などを取り上げる。</p>							